

おいしい水の正体

東大和市立第二小学校 四年三組

津田 結珠

私は毎日おいしい水を飲んでいます。今回、
社会の授業や水道局の人たちからの話を聞いて
て、きれいな水ができるまでについて学
びました。私は当たり前のように毎日水を飲
んだりしているけれど、きれいな水ができる
までは様々な工程があつて、とても大変だと
いうことを知りました。

一番おどろいたことは、水道水源林に
ついてです。人が間伐などの手入れをして、
健康な森林を育て、よりきれいな水をつくる
役割をになつていているそうです。また、その森
林は土がとてモフカフカで、ふつた雨を沢山
たくわえられるそうです。このように、私た
ちの生活から遠くはなれた森林でも、おいし
い水のために行われていることがあると知り、
おどろき、家族にも教えてあげました。
また、高度浄水処理という方法を今回

初めて学び、とても印しように残りました。
私は以前から、ろ過や、塩素注入などの浄水
場の仕組みについては何となく知っていました
した。高度浄水処理のオゾン処理の様子
が分かる実験を実際にみせてもらい、オゾン
処理、という方法がよりおいしい水を作って
いることを学びました。実験でおいのかわ
りとして青い水をオゾン処理をする装置に入
れると、すぐにとう명한水になって、出てき
ました。これによって、においのものが分解
されたことが分かりました。分解されたにお
いのものはさらに生物活性炭で取りのぞかれ
きれいな水を作り出すそうです。浄水場でも
様々な工夫がされて、や、と私たちの生活へ
とどけられてくるきれいな水だから、安心し
て飲むことが出来るんだ、と感じました。
そして、私たちが安心して生活するため
ダムが重要な役目を果たしています。川の
量を調整したり、生活水をためる働きがある
そうです。もしもダムがなかったら、どうな

るのでしょう。ダムがなければ、川の水量を調整できないので、大雨がふった時に、川があふれて、こう水がおこってしまいます。また、たくさんのお水をためておくことができないので、雨がふらない日が続けば、作物は作れなくなるし、飲み水もなくなってしまう。川の生物たちも生きていけなくなります。私は以前家族と蒲山ダムに行ったことがありますが、山の奥にあって、とても大きく、高い堤防と貯水池がエメラルドグリーンできれいだ。たことも覚えています。堤防の一番下の所までエレベーターでおりていき、五百段の階段を使って、堤防の頂上部分まで登りました。何分もかかって登ったので、高低差を実感しました。これだけ大きく、美しいダムをつくり、管理するのは大変だろうと思います。す、私たちの生活を支えてくれて、いる人が沢山いることを今回、あらためて感じました。きれいな水があることに感謝し、大切に使い

て
も
ら
お
う
、
と
思
い
ま
し
た
。

